

市場上場子牛のワクチン接種形式が変わります

青森県畜産農業協同組合連合会から、令和2年度家畜市場上場子牛(令和2年4月から)のワクチン接種形式について別紙のとおりお知らせがありました。

牛生産者の皆様は、令和2年4月以降開催の市場から適用される新しいワクチン接種形式についてご留意いただき、獣医師と相談の上、適切なワクチン接種をお願いします。

冬季の下痢と呼吸器病を予防しましょう！

冬になると牛の下痢症や呼吸器病が発生しやすくなります。発生してしまうと、子牛の発育不良や乳量減少等、大きな経済的損失を引き起こしてしまうので注意してください。

予防対策としては、日頃からの飼養衛生管理の徹底やワクチン接種が有効です。

予防対策のポイント

畜舎の環境整備

- 密飼いを避け、換気を十分に行う
- 清掃、消毒を徹底し、床をよく乾燥させる
- 敷料をこまめに交換する
- 踏込消毒槽を設置し、関係者以外の出入りに注意する



踏込消毒槽の設置

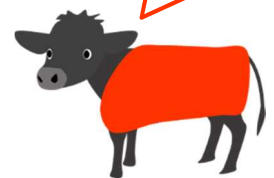
ストレスの軽減

- 適切な飼養管理を徹底する
- 輸送や導入時には十分な給水、ビタミン等の投与を実施する

子牛の管理

- 子牛が生まれたら体をよく拭き被毛を早く乾燥させる
- 保温ランプやカウジャケットなどの寒さから守る対策を実施する

カウジャケット



導入牛の管理

導入後約2週間は隔離飼育し、健康観察を実施する

ワクチンの接種

IBR5種混合ワクチン、牛下痢5種混合不活化ワクチンなどのワクチンは、病気の発症を予防し、万が一発症しても軽症で済むことが期待できます。

詳細は診療獣医師または家畜保健衛生所にご相談ください。